

「夢」と「笑顔」と「達成感」

平成30年5月10日（木）

子どもたちの「困り感」。よく目にします。「言いたいことが伝えられない」「友達と仲良くしたいのにその方法がわからない」…何とかしてやりたいですね。子どもたちが学校の大半を過ごすのは「授業」の時間です。「授業で鍛える」を忘れずにいたいですね。ただ、心の段階が「鍛える」に耐えられていない状態の子どももいます。そのあたりの手綱さばきはよろしくお願いします。学級担任だけではなく「みんなで」やりましょう。

1 本日（5/10）のメニュー

- （1） 全体会
 ① 今年度の研究概要説明②
 ・「学び合いの場」
 ・「書く活動」
 ② 国語・算数部会の立ち上げ

2 「学び合いの場」について～「全員参加」から「全員活躍」を目指しましょう～ <1 単位時間の基本イメージ>

5分	10分	20分	10分
つかむ	かんがえる	みがきあう	いかす

<こういう時間もあるかもしれません>

5分	35分	5分
つかむ	みがきあう	いかす

（1） 留意点～子どもにも明確にさせておきましょう～

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ○ この場面でのグループ活動は何のために行うのか | ※学び合う目的 |
| ○ 何を考えさせるのか | ※中心発問 |
| ○ グループ活動の成果をどのようにまとめさせるのか | ※学び合いの成果の相互発表 |
| ○ 学びあった成果をグループ同士でどう生かし合うか | ※グループ間での比較検討 |

（2） 目的と具体例<「みがきあう」過程において>

① 思考を深化する

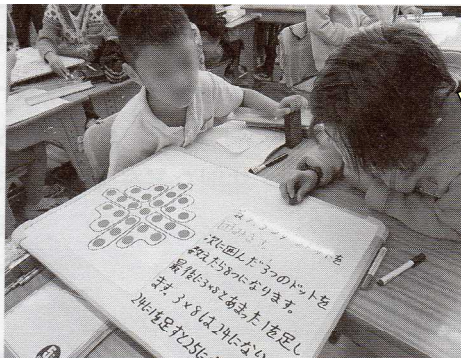
【手順】

- 「考える」（自力解決）の段階で、自分で問題を解き、考えをノートに書かせておく。
- 隣の友達とのペアや4人程度のグループをつくる。それぞれの考えを伝え合って共通点と相違点を比較させる。
- グループでホワイトボードを共有して、よりよい解き方や考えを協力してつくり、図・文章・表・グラフなどを組み合わせながら解いていかせる。
- なぜその解き方や考えがよりよいものなのか、理由も書き加えておかせる。
- グループ別発表に備えて、メンバーの役割を決めたり、リハーサルを行わせたりして、筋道の通った発表内容を準備させる。

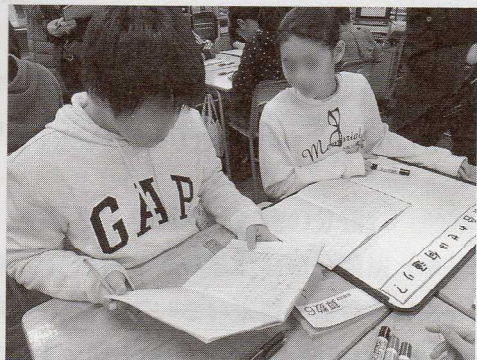
【具体例】算数科「数の構成」



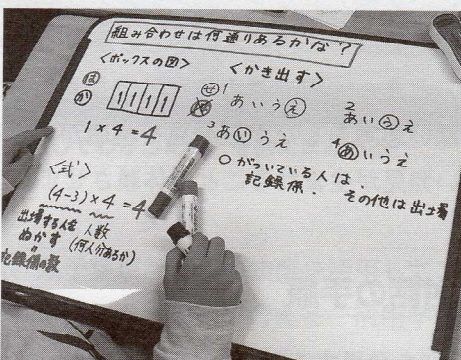
点を速く数える方法を教え合う



図と文と式を組み合わせで説明している



自分の解き方をグループで共有する



グループで考案した解き方を整理している

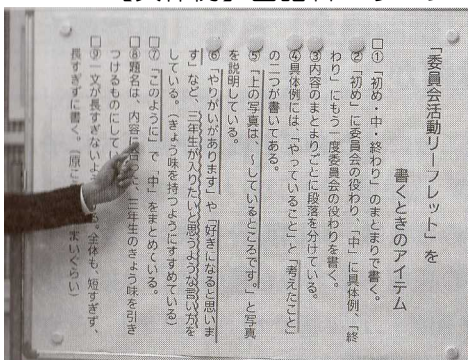
- ホワイトボードを使い、可視化する。
- ◎ 図・文章・式を組み合わせで書くように条件をつける。
- ◎ 三段階思考法（まず、次に、最後に）を使わせる。
- ◎ 他者説明を行わせる。
- 等も考えられる。

② 相互評価をする

【手順】

- A 相互評価のための評価の観点と評価基準を示す。
- B ペアやグループになり、修正・改善する考えや作品を決めさせる。
- C どのような考え（作品）なのかを一人ずつ発表させる。
- D 発表内容について、観点や基準に沿って改善意見を出し合わせる。
- E 改善意見をもったら、どの意見をどのように参考にして改善するかを返答する。
- F 司会者が、メンバー全員からもらった改善意見をまとめ、自分が学んだことを発表する。

【具体例】国語科「リーフレットを作ろう」



リーフレットの「書き方のアイテム」を示す



「書き方のアイテム」を活用してアドバイスする

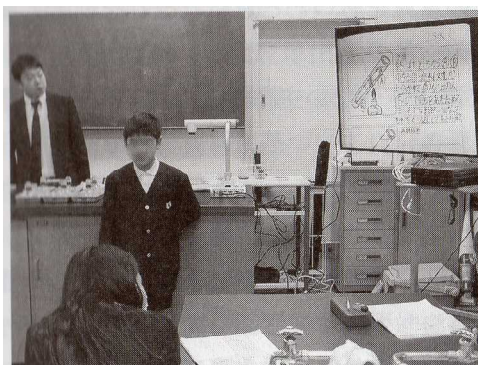
- ◎ 子どもたちの作品やパフォーマンスを対象に練り上げを行う学習で、国語科の「推敲」の段階でも可能

③ 法則を発見する（主に高学年向き。単元全体でやる必要あり）

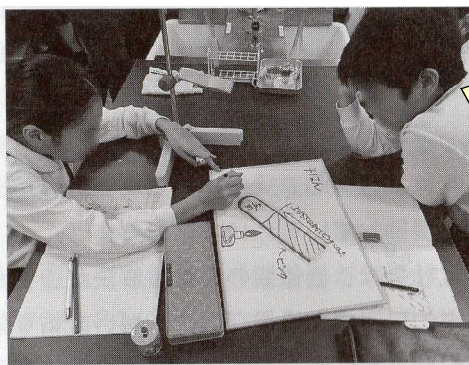
【手順】

- A データや資料の整理と要約をさせる。
- B そこから導き出される傾向や規則性を自力解決で発見させる。直感ではなく、既習知識を活用して考えるようにさせる。
- C 実験、観察、調査などを行い、結果を整理させる。
- D 友達と対話しながら、よりよい説明の仕方を考えさせ、文章・式・図などで表現させる。
- E 学級全体で対話をしながら、さらによりよい説明の仕方を練り上げていく。

【具体例】理科「もののあたため方」



図を示して温まり方の予想を発表している



実験してわかったことを図にまとめる

- 自分の仮説を図と文章を組み合わせてノートに書かせ、発表させる。
- 教師がグルーピングしてパターンを整理し、可視化して示す。
- 実験や観察を行った後、現象をうまく説明できる方法をホワイトボードに書かせる。
- ◎ いくつかの仮説のうちどれが正しかったかを、子どもに説明させる。観察した現象と既習知識との共通点・相違点に気づかせる。

※ 参考文献「アクティブ・ラーニング『深い学び』実践の手引き」田中博之 教育開発研究所

3 「書く活動」について

<基本イメージ>

5分	10分	20分	10分
つかむ	かんがえる	みがきあう	いかす

<こういう時間もあるかもしれません>

つかむ	いかす
-----	-----

(1) 留意点～子どもにも明確にさせておきましょう～

- | | |
|----------------------|----------------|
| ○ 何を書かせるのか | ※本時のねらいに沿ったものを |
| ○ どのように書かせるのか | |
| ○ 書いた後、どうするのか | ※認め合う場の設定 |
| ○ 書かせた成果を学級でどう生かし合うか | ※振り返る場の設定 |

(2) 目的・方法と具体例

【目的（何を）】

- この授業でわかったこと、学んだことを
- 学習の感想、学び方の振り返り
- 言語活動の成果物としての作品等を

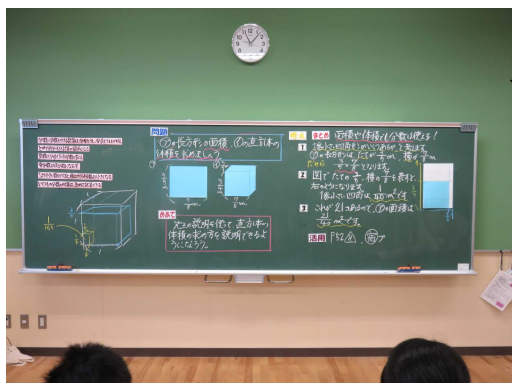
【方法（どのように）】

- 手紙、俳句、報告文形式等
- 字数、相手等
- キーワードを入れて

◎ 様々な活動が考えられます。今回は「かんがえる」の場面および「いかす」の場面においての「書く」に関して紹介しています。先生方も様々な実践をされてきたことと思います。ぜひご紹介ください。

① 課題に対する自分の考えを導き出す「かんがえる」過程における「書く」>

【具体例】算数科「分数のかけ算」

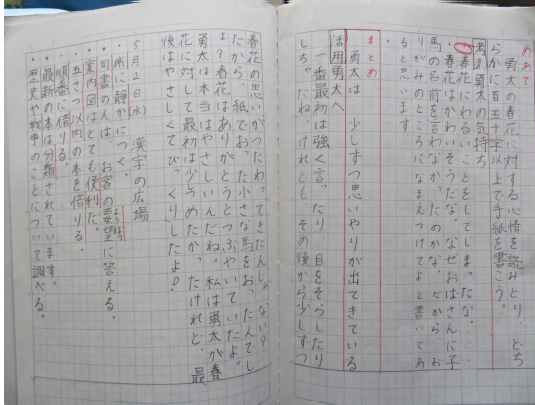


めあてに対する考えとなりますので、この授業で何を目標なのか（「知識・理解」なのか、「思考・判断・表現」なのか、「学びに向かう力・人間性」なのか）によって、書かせ方・書く内容が違ってきます。今回は、「思考・判断・表現」の力をねらったので、めあてを「説明できるようになる」としました。

めあてを作る際、毎時間「考えよう」では、どんな「資質・能力」をねらうのかがはっきりしません。私は「考えよう」は、子どもに対して不親切なめあてだと思っています。

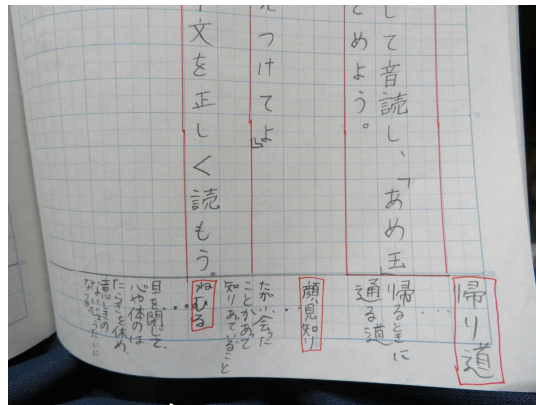
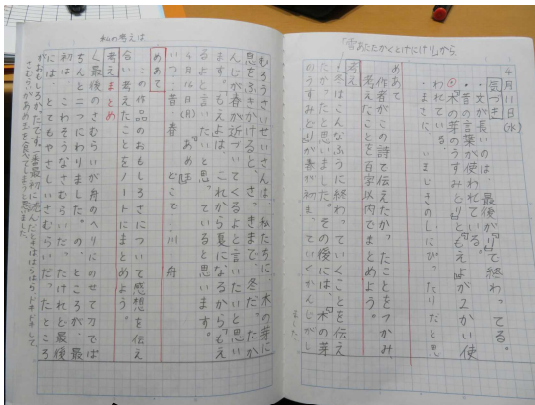
② 学び取ったことをまとめるく「いかす」過程における「書く」>

【具体例】国語科「春香か、勇太に手紙を書こう」



5学年国語科「登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう」（教材「なまえつけてよ」）の学習において、「春香か、勇太に手紙を書く」という言語活動を設定し、書く活動を位置づけました。「手紙」という形式にすることで、登場人物により共感的に読ませることを目的としました。150字程度という字数制限を設け、10分間で書かせました。（4名未提出）

※ ノートの使い方の工夫（国語科）



国語科で方眼ノートを使わせる場合、下から2マス目に線を引かせると、一行が20文字になって様々な「書く」に対応しやすいです。

下の2マスは、意味調べや新出漢字、友達の考えをメモしたりするスペースに活用できます。

4 部会の立ち上げ

【授業作り 2つの実践部会】

- ① 国語部会：低1，中1，6年担任1，特別支援担任1，専科，
- ② 算数部会：低1，中1，5年，6年担任1，特別支援担任1，養護教諭，学校栄養職員

メモ

この研究を，全職員が「自分を高めるもの」と意識を高く持って，一年間取り組んでくれば，必ず子どもたちの表現力・思考して書く力が伸びます。「継続は力なり」です。いかに意識的にやるか，です。

先にお話した学校経営に当たっての5つの基本姿勢，

- (1) 学校は組織体
- (2) 管理職と教職員は一心同体
- (3) 学校は児童の成長のために
- (4) 教育は信頼関係がすべて
- (5) 「学校力」の核は教職員の「人間力」

校内研究もこの姿勢で臨みます。よろしくお願いします。

校長先生より



5 年間計画（案）

	月	日	曜	内 容	
前	4	19	木	○ 概要説明1（本日） ・研究テーマ，仮説の確定 ・2部会の確定	
	5	10	木	○ 概要説明2（推進委員会から） ・「学び合い」「書く活動」「言語活動」 ・2部会の立ち上げ（メンバー確定）	
	5	31	木	○ 国語・算数部会 ・部会仮説，取組内容の協議	
	6	21	木	○ 指導案検討：5－1算数	
	6	27	水	○ 国語・算数部会 ・部会仮説，取組内容の協議	
	7			○ 市教委要請指導訪問：5－1授業（算数）	
	7	23	月	○ 全体授業の考察 ・指導案形式（素案） ・学習規律 ・「家庭学習の手引き」確定	授業の領域・単元・時期を決定
	8	9	木	○ 各部会 【検討事項】 ・部会研究テーマ ・部会具体仮説 ・指導案形式 ・授業外での取組（開知タイム，教室の環境整備等 日常で力をつけさせる取組）	
	8	21	火	○ 現職教育（特別支援） ○ 国語部会，算数部会概要説明会 ○ 学力調査分析，改善策提案	
	8	31	金	○ 教育課程説明会 ○ 部会授業指導案検討（両部会同時に）	
期	9	6	木	○ 部会授業，授業研究会	部会授業を中心に実践
	9	26	水	○ 部会授業，授業研究会	
	9	27	木	○ 予備日	
	10	11	木	○ 部会授業，授業研究会	
	10	18	木	○ 予備日	
	11	1	木	○ 部会授業，授業研究会	
	11	22	木	○ 部会授業，授業研究会	
	11	29	木	○ 指導案検討：国語部会	

期	1 2	1 3	木	○ 全体提案授業	
	1 2	2 5	火	○ 指導案検討：算数部会	
	1	2 4	木	○ 全体提案授業 ○ 「研究のまとめ」原稿形式提案	授業者 を もと に した 授 業 実 践
	2	7	木	○ 「研究のまとめ」原稿作成	
	2	1 4	木	○ 「研究のまとめ」原稿作成	
	2	2 7	水	○ 「研究のまとめ」製本作業	
	3	4	月	○ 「研究のまとめ」をもとに成果と課題の整理	
	3	2 5	月	○ 研究のまとめと次年度の方向性検討	

※ 9月以降に市教委学校訪問が入ります。また、昨年度同様「学力向上授業」（算数）が入ります。

6 朝の時間に関して

(1) 開知の時間

① 目的

- ◎ 学習内容の習熟・定着を図る。
- ◎ 授業内容の補充学習を行う。

② 実施日

- ・月曜日 8：10～8：30
- ・水曜日 8：10～8：20

※ 時間厳守でお願いします。

③ 内容

- ・しばらくは、前年度の復習や、授業の補充が中心（後ほど各部会から提案していただきます。）

(2) 朝の読書の時間

① 目的

- ◎ 本に親しませることで、情緒の安定・集中力の向上を図る。

② 実施日

- ・木曜日 ブクブクタイム終了後～8：30

※ 時間厳守でお願いします。

② 朝の読書4原則（参考）

- ・みんなでやる・毎日やる・好きな本でよい・ただ読む。